

2・15大雪災害

2014年2月15日。山梨県や群馬県で大雪災害が発生しました。全国ニュースでは報道されておきませんが、ここ、福島県二本松市でもたった12時間程度で1メートルもの雪が積もりました。

福島県は東北なので、冬は雪があつて当たり前のように思っている方が多いのではないのでしょうか？実は・・・違います！

会津地方は奥羽山脈より日本海側の為、雪が多いですが、奥羽山脈より太平洋側の中通りと浜通りは、あまり雪が積もりません。

中通りは雪がちらついたり、1シーズンに3~4回程積もる事はありますが、根雪（春まで融けない雪）になるのは、山間部を除けば、まずありません。浜通りはどちらかというところと東京のような気候で、雪が殆ど積もらないのです。

私は青森県で2番目の豪雪地帯、青森市に7年住んでおりましたが、今回の大雪災害のように、12時間程で1メートルも積もる雪は、経験したことがありませんでした。

今回の大雪災害は中通りを中心に、昭和55年のクリスマス豪雪を上回る、未曾有の規模でした。雪の降り方は交差点で信号待ちをしていても、信号機すら見えないという「ホワイトアウト」という現象を伴いました。ゲリラ豪雨の雪バージョンといった感じです。

東北自動車道は通行止め、国道4号線は大渋滞、あちらこちらに動けなくなった車、田んぼに落ちた車・・・そして、震災の時のように、物流が麻痺してしまいました。私も二本松市中心部に住んでおりましたが、除雪車が足りず、メインストリートまで100メートル程の道を、2日かけて人力で除雪をしたという状況でした。雪は水分を多く含み、とても重い雪でした。前週も50センチの大雪に見舞われた為、心身共にとても疲れてしまいました。

中心部の街中でもそんな状況でしたが、農家さんのところでは農業用ビニールハウスの倒壊など、深刻な被害が出てしまいました。前述のとおり、雪があまり降らない地域においては、農業用ビニールハウスに除雪設備が無く、ホワイトアウト現象が発生している状況では、ハウスの様子を見に行く事すら出来ませんでした。

被害に遭った農家さんのハウスでは、出荷最盛期の野菜や、春野菜が栽培されていました。「原発事故による放射能と向き合い頑張ってきたのに、今度の大雪はさらに追い打ちをかけるものだ」と再建を断念する声も聞かれます。ハウスの再建には莫大な費用がかかります。国や県からの補助金では、全てを賅うことが出来ないのが現状です。



二本松市 菅野瑞穂さんのハウス



二本松市 佐藤佐市さんのハウス

「ふくしま有機ネット」と「ふくしまオルガン堂下北沢」では、被害に遭ったハウス再建の募金活動をしております。つぶされたハウス撤去のボランティア支援をはじめ、福島農家への皆さんのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



2/15 二本松市中心部



2/16 二本松市中心部



2/18 有機ネット事務所前

義援金の振込先

東邦銀行（とうほうぎんこう）

二本松支店 普通

口座番号：1155254

口座名義：トクビノクシマケンノウキノウキョウネットワーク

「ふくしまオルガン堂下北沢」

〒155-0032 東京都世田谷区代沢4-44-2

電話：03-3411-7205

店長 阿部直実

スタッフ一同

NPO法人福島県有機農業ネットワーク

〒964-0991 福島県二本松市中町376-1

電話：0243-24-1795 FAX：0243-24-1796

理事長 菅野正寿

理事一同

スタッフ一同

とっても簡単レシピ ～いちご編～



福島県のいちごの旬は1月～5月です。

いちごにはビタミンCが100g中62mgと多く含まれています。

10粒程度食べれば1日に必要なビタミンCがとれます。さらに、いちごにはビタミンEも含まれています。ビタミンCの抗酸化作用は、ビタミンEと共存することで相乗的に効果が高まります。動脈硬化の原因となる血管壁へのコレステロール沈着を予防し、免疫力を高めてくれます。

(独)農畜産業振興機構「野菜ブック食育のために」

そんな旬のいちごを使った簡単スイーツを「ふくしまオルガン堂下北沢」キッチン担当佐藤紀子をご紹介します。※もちアイスは佐藤が菅野瑞穂さんより教わったレシピです。

✿オルガン堂風もちアイス✿～春のいちご&あんこのせ～

～材料～

切り餅 2枚 (お好みでどんな種類の餅でもOK)

アイスクリーム (パナソニック) 適宜

はちみつ 適宜

あんこ 適宜 (あんこが苦手な方はチョコレートソースなどでOK)

いちご 適宜

えごま粒 少々 (彩と食感をプラス)

♡作り方♡

- ①切餅はトースターなどでふっくらするまで焼く。
- ②器にはちみつを回し入れ、①を中心に並べる。
- ③②の餅の上にアイスクリームをのせる。
- ④③にあんこ、いちご、えごま粒を可愛くトッピングして完成!



ふくしまオルガン堂下北沢

✿福島県の旬の食材を使った「ふくしま定食」800円～

✿福島県とルピシアとのコラボ紅茶「福恋」とデザート畑1000円～

住所 : 〒155-0032 東京都世田谷区代沢4丁目4-2

電話 : 03-3411-7205

営業時間 : 12:00～18:00

(18時以降は、5名様以上ご予約の場合営業。21時閉店)

HP : <http://www.farm-n.jp/youki/organ/>

電車 : 京王井の頭線「下北沢駅南口」より徒歩約12分

バス : 渋谷駅から、小田急バス: 経堂駅行、又は梅ヶ丘駅北口行

(いずれも渋谷54系統) に乗り、「代沢小学校」バス停下車



「苦は楽の種、楽は苦の種」

きぼうのたねカンパニー 菅野 瑞穂

就農4年目の今年是有機栽培の指導を受けながら苺づくりをスタートしました。東和の厳しい冬を乗り越え、ようやく色づき始めた赤いイチゴは、地元の道の駅ふくしま東和で直売をスタートし地元で笑顔が少しずつ増えてくるのが楽しい日々になりました。これからは、いちご大福の加工や畑に来てもらうイベントも予定しています。道の駅全体の売上も震災前くらいに回復してきたものの農産物に関しては未だに3割減の状況です。

あれから、3年の月日が経ち少しずつ未来に向かって歩み続けることが出来ました。それでも原発避難者の帰還が進まない状況や原発事故に関しては現在進行形です。そんな福島の中で暮らす私たちは支え合いながら、今ある現実を直視し課題と向き合っていくことが大切です。震災によって失われたものを探さず今、目の前にあるものを大切に、自分のできることを一歩ずつ踏み出す勇気が必要です。来春から東和地域には新規就農者など7名が移住予定で更に活気づきそうです。ようやく、福島で有機農業をやりたい!という人達が増えていることに嬉しく感じます。魅力のある地域づくりと地域経済を豊かにしていくために農業生産や私が関わる消費者との交流ツアーやイベントなどで更なる繋がりや出逢いが今からワクワクです。

一方で、2月の大雪でハウスの倒壊が農家を打撃しました。東和地域でも50棟近くのハウスが倒壊しました。ハウスの立て直しや資材の購入などがままならない状況ですが、もうそこまで春はやってきているのです。農業は常に自然との共生です。

しかし、農業と原発は共存できないことを思い知らされたことをきっかけこれからは伝えなければなりません。

畑を耕し、タネをまき、新しい命が福島の大地に宿ります。命を育てる農業こそが日本人の生きる源であり、かけがえのない日本の宝なのだと思います。



自然の中で呼吸して、太陽の恵みを浴びて、雨風に耐え、強く育っていく植物のようにわたしもしっかり大地に根を張り生きていきたいと思っています。

「苦は楽の種 蒔く春のはじめより 怠らぬ身の 秋の豊かさ」

努力や苦勞も受け入れて、実りのある福島にこの1年にしていきたいと思っています。

周りの皆さんの支えに感謝します。

【記事掲載】Yahoo!の東日本大震災から3年 つながろう、明日も <http://fukko.yahoo.co.jp>



菅野瑞穂さんのプロフィール

すげのみずほ

1988年福島県二本松市(旧東和町)生まれ。

有機農業を営む26歳。元セバタクロー日本代表。

大学を卒業後、父親のもとで有機農業を始める。

福島第一原発事故による福島の農業の現状を伝えようと、

2013年3月に『きぼうのたねカンパニー』を設立。

有機農産物のインターネット販売と、グリーンツーリズムを手がけている。



ご意見ご感想をお寄せ下さい!

【E-mail】✉

h@farm-n.jp

【Twitter】🐦

@hukuyuuuinet

【FAX】📠

0243-24-1796